



か んきょうをたのしく学ぶ



生物多様性の保全について考えよう!

わたしたちは他のたくさんの生きものとつながり、その生きものたちがもたらす意みに支えられて、暮らしています。 わたしたちの様々な活動によって、地球温暖化など地球上の環境に大きな影響を与えています。100年前には1年間に1程類の生きものが絶滅していましたが、今では1年に4万種類以上の生きものが絶滅しており、生きものたちの絶滅の速さはどんどん加速しています。このため、生きものどうしのつながりや支えあいのバランスが崩れているといわれています。 わたしたちがこれからも食べものなど自然からの意みを受け続けることができるように、この名古屋で2010年に開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)とその後の取組みを振り返り、どうしたら、生きもののつながりの豊かさ、いわゆる「生物多様性」を守れるかについて考えてみましょう。









いろいろな話題をお届けします。



生物多様性の保全について考えよう!



なごや環境大学 とくべつ サークショップ、マンスリー企画展示

生物多様性とは

地球上には様々な環境があり、そこに生息する生きものは、その環境に適合しながら、お<u>労</u>いにつながりあい、バランスを保っています。この生きもののつながりの豊かさのことを「生物多様性」といいます。

〈3つの生物多様性〉

生物多様性を守ることを取り決めた国際条約である「生物の多様性に関する条約」では、「生態系・種・遺伝子」の3つのレベルで説明しています。





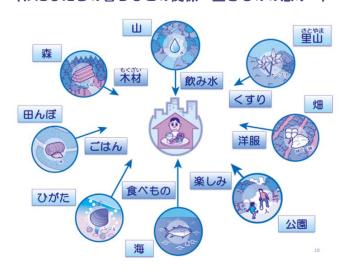


生きものたちは、森林や河川、湿地、海や干瀉など色々なタイプの自然の中で生きています(「些態系」の多様性)。

世界には約3,000万種類の生きものがいます。わたしたちが暮らしている名古屋にも約6,000種類の生きものが生息し、湧き水のある湿地などにすむ崑魚の「ヒメタイコウチ」や、ブルーベリーくらいの小さな実をつける「マメナシ」をはじめ、この地域でしか見られない生きものがいます(「種」の多様性)。

アサリが適様ごとに模様が違っているなど、同じ種類の生きものでも異なる遺伝子を持つことにより、色や形が違うものがたくさんいます(「遺伝子」の多様性)。

〈わたしたちの暮らしとの関係~生きものの恵み~〉



左の図のように、食べものや発能をはじめ飲み水、くすりなど、わたしたちの日々の暮らしは、いろいろな生きものからもたらされる驚みに受えられています。

- *食料や木材など生活に不可欠な資源の供給
- *水質浄化や洪水防止など暮らしへの悪影響の緩衝
- *観光や宗教など文化面での生活の豊かさの提供
- *大気や水などすべての生命の存在基盤である地球環境の形成・維持

〈生きものが減って、生きもののつながり・バランスが崩れています〉

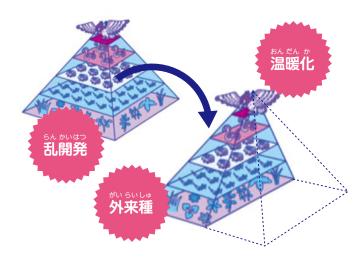
生きものを取りすぎたことなどでその数が大きく減っています。 森が工場や住宅になるなどの開発により緑が少なくなっています。 ペットとして飼っていた外来種のカメなどを池に放したりして、外来種が自然の中に持ち込まれたりしています。

また、電気やガスなどのエネルギーを使い過ぎたりして大気中の 二酸化炭素が増えて、地球温暖化が進んでいます。

このような様々な影響により、100万種以上の生きものが絶滅の 危機に<u>首節</u>しているとされています。(注1)

一つの生きものが絶滅すると、関係を持つ他の生きものの生存に も影響し、ドミノ倒しのように様々な生きものを巻き込むことで、 生きもののつながりやバランスが崩れています。

注1:生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学・政策プラットフォーム (IPBES) の報告書 (2019年)



生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10) の開催とその成果

〈名古屋市での開催の歩み〉

1999年

ひじょうじたいせんげんごみ非常事態宣言

藤前干潟が渡り鳥の飛来地として重要であ ることが分かり、埋立処分場の計画を中止 し、「ごみ非常事態宣言」を発表して市民・ 事業者との協働により20万トンのごみを減 量しました。 藤前干潟は2002年にラム サール条約の登録湿地となりました。



2005年

み

め

愛・地球博 (2005年日本国際博覧会) の開催 「自然の叡智」をテーマに愛知県長久手市 のモリコロパークで開催され、121か国と 4つの国際機関が参加し、延べ2,200万人 の来場者がありました。



2010年

組みが認めら

ħ

生物多様性条約第10回締約国会議 (COP10) の開催

COP10は、10月11日~10月29日に、 179の国と地域、13.000人以上の人々が 参加して、名古屋市の国際会議場で開催さ れました。



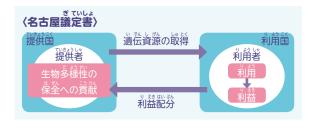
写真提供:日本政府

〈COP10の成果〉

この会議では、『遺伝資源のアクセスと利益配分についての取り決め(名古屋議定 書)』や『生物多様性保全の新しい自標(愛知自標)』など47項目を採択しました。

名古屋議定書は、遺伝資源の利用で得られた利益が公正・衡平に配分されるよう に、利用国(主に先進国)と提供国(主に途上国)がとるべき措置を定めたものです。 愛知曽標は、2050年までに「自然と発生する」世界を実現するための臭体的な行 動目標として、5つの戦略目標と、その下に位置づけられる2015年又は2020年を 覚標年とする20の個別首標を定めています。

そして、2021年には、生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)が中国の昆 前市で開催され、新たな目標が採択される予定です。



〈愛知目標〉

然数なる 各政府と各社会において生物多様性を 主流化することにより、生物多様性の 損失の根本原因に対処します。

生物多様性への直接的な圧力を減少さ せ、持続可能な利用を促進します。

生態系、種及び遺伝子の多様性を保護 することにより、生物多様性の状況を 微善します。

生物多様性及び生態系サービスから得 られるすべての人のための恩恵を強化 します。

参加型計画立案、知識管理及び能力構 繁を通じて実施を強化します。

国連生物多様性の10年と2020年の最終年事業

〈国連生物多様性の10年とは〉



引用:国連生物多様性の10年日本委員会ウェブサイト

「国運生物多様性の10年」とは、2011年から 2020年までの10年間を、国際社会のあらゆる機 関が連携して愛知目標等を実現するために取り組 む期間として、国連総会で決議されたものです (2010年12月)。

国連の取組みとなったことで、生物多様性条約 を締約していない国なども含んだ世界全体の取組 みとして推進されることになりました。

また、日本では、2011年9月に「国運生物多様 性の10年日本委員会」が設立され、国や事業者・ 民間の団体などの参加と連携を促進し、生物多様 性を守ることなどの取組みを進めました。

〈2020年は「国連生物多様性の10年」の最終年〉

2020年は、COP10で提唱された「国連生物多様性の10年」の最終年にあたります。

生物多様性の主流化を進める事業や生物多様性に関して愛知県と名古屋市が協働で進める事業により、この最終年の機運を盛り上げます。2021年に中国の昆明市で開催が予定されている「生物多様性第15回締約国会議(COP15)」において、COP10を開催した都市として10年間の取組みの成果を発信します。

1生物多様性の主流化の推進

- *森林認証紙の利用拡大を図るモデル事業を実施します。
- *なごやの生きもの情報を発信するウェブサイト「なごや生きものライブラリー」を充実させます。

②あいち・なごやの取組み(愛知県と協働する事業)

- *あいち・なごや生物多様性2020年連携事業として、生物多様性のイベントで共通ロゴマークを使って、 最終年の機運を盛り上げます。
- * COP10以降の生物多様性の取組みの優良な事例を、「あいち・なごや生物多様性ベストプラクティス」として取りまとめます。



3中国昆明市で開催するCOP15での成果発信

- *サイドイベントでの発表やブース出展により本市の取組みと成果を発信します。
- *生物多様性自治体ネットワークの代表としてその成果を発表します。

COP10から10年、名古屋市の取組み

なごやの生物多様性を守り、世界中の自然の意みを持続可能な方法で利用するため、「身近な自然の保全再生」と「生活スタイルの転換」を柱に、市民、NPO、企業、研究・教育機関、行政などと協働して、いろいろな分野での取組みを進めてきました。

〈身近な自然の保全と再生〉

残されたなごやの自然に目を向け、身近な自然を守り育てるため、「なごや生物多様性センター」を設立し、市民協働による情報の収集・発信や生物調査などを行っています。

生きもの情報の収集・発信	生きものに関する情報を収集し、普及啓発イベントや刊行物などを通じて発信しています。
市民との協働による生きもの調査	なごや生物多様性保全活動協議会をはじめNPO、専門家等と協働して、生物調査や外来種駆除等の保全活動を行っています。
連携・交流とネットワークづくり	研究機関・大学などとの相互協力やNPOに対する活動支援、児童生徒から社会人まで多様な主体による交流の場づくりなどを行っています。

〈生活スタイルの転換〉

たくさんのモノを消費する生活を見直し、自然の恵みを持続可能な方法で利用します。

^{がらまさう} 環境デーなごや	2000年から続く名古屋市内最大級の環境イベントで、生物多様性などの環境問題について、理解や関心を深め、真体でな行動へとつなげるきっかけを提供しています。
市民・事業者向け普及啓発	できなこうで 出前講座や事業者を対象とした講習会で、わたしたちの暮らしを支えている生物多様性を守ることや生物 参様性の恵みを受け続けられるように利用することの大切さを広めています。
なごやグリーンウェイブ	名古屋市はオフィシャルパートナーとして、植樹などを通じて生物多様性について考える「グリーンウェイブ活動」の促進を図っています。
フェアトレードの推進	開発途上国の商品を適正な価格で継続的に購入することで生産者の生活改善と自立を目指すもので、名古屋では「地球とのフェアトレード」を合言葉に、地域、そして地球に対してフェアであることも目指し、まちぐるみで取り組んでいます。



生物多様性を守るために、 わたしたちにできるアクション ~MY行動管言~

森や海などの自然や生きものを守って、生物多様性の意みを受け続けられるように、次の5つの中からあなたにできることを選んで「MY行動萱萱」をしましょう!

今日から一人ひとりが行動することが大切です!

Act 2000 地元でとれたものを食べ、筍のものを味わいます。 Act 2000 自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然のものにふれます。 Act 2000 自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。 Act 2000 生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。

*ZJ/;/LNEWS.

特別ワークショップ

「自然木を使ったトンボづくり」

日 時 7月26日 (日) 11:20~11:50、13:30~14:00

対 象 幼児〜小学生 親子参加OK(小学3年生以下の方は保護者同伴)

定員 各15名(要申込・先着順)※7月11日(土)9:30受付開始

費 用 500円

内 容 自然の木を使った工作教室。手のひらサイズのトンボを作ります。

講師 もくもく楽舎 たけちゃん工房



「自然木を使ったダックスフントづくり」

日 時 8月23日(日) 11:00~11:50、13:30~14:20

対 象 幼児〜小学生 親子参加OK(小学3年生以下の方は保護者同伴)

定 員 各15名 (先着順)※8月12日 (水) 9:30受付開始

費 用 800円

内容 自然の木を使った工作教室。手のひらサイズのダックスフントを作ります。

講師 もくもく楽舎 たけちゃん工房



ベ ヘ ベ ム マンスリー企画展示 ベ ヘ ベ ム



剪定木を使った 動物たち

ラーマ

海のエコラベルに 関する展示



守山リス研究会の 活動紹介

出展者

もくもく楽舎 たけちゃん工房

中 交

MSC(海洋管理協議会)日本事務所

出展者

持続可能な漁業で獲られた水産物にのみ付けられる「海のエコラベル」について展示します。エコラベル付の製品を選ぶことが、将来の世代へ水産資源を残していくことに繋がります。

出展者

守山リス研究会

内 谷

剪定木などでつくった動物たちが、凧 揚げや一輪車で遊んだり、元気良く通 学して授業を受けている様子を展示し ます。

内 容

「公園にリスを取り戻そう」を出発点に、 ニホンリスが安定して暮らすことがで きる自然を取り戻し、維持するために 行っている様々な活動を紹介します。



夏休みの思い出づくりや宿題にもお役立ち! 共育講座2020前期 開講中

現在配布中のガイドブックやウェブサイトには、夏休み期間の親子向け講座もたく さん紹介されています。自然体験、工作、ワークショップなど、さまざまなスタイ ルで、また、1日だけでも参加できる講座もあります。 ぜひチェックしてください!

「なごや環境大学」実行委員会事務局(エコパルなごや内)

〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階 ⟨TEL&FAX⟩ 052-223-1223 ⟨E-mail⟩ jimu@n-kd.jp ⟨HP⟩ https://www.n-kd.jp

配布場所

- 名古屋市内の各区役所
- ▶図書館
- ▶生涯学習センター
- ▶スポーツセンター等







藤前干潟ふれあい事業のご案内



(1)「干潟体験」

- **日 時** ①7月21日(火) ②8月4日(火) 11時~ 13時
- 象 小学4年生~大人(小学生は保護者同伴)
- 定員 各15名(応募者多数の場合は抽選)
- 締 切 第1回:7月11日 (土)、第2回:7月25日 (土)
- 容 干潟に入って生きものとふれあおう!
- 場 藤前活動センター (港区藤前2-202)、三重交通バス (イオンモー ル名古屋茶屋行き)「南陽町藤前」下車徒歩15分。駐車場有。

(2)「ひがたにくるトリ、どんなトリ?」

- 日 時 8月5日 (水) 10時~12時
- 象 小学1 ~ 3年生(保護者同伴)
- 員 20名(応募者多数の場合は抽選)
- 締 切 7月25日(土)

- 内 容 楽しいトリのお話と実際に観察をした後に、トリの ミニ模型の色塗りをしよう!
- 会 場 名古屋市野鳥観察館 (港区野跡4-11-2)、あおなみ 線「野跡」駅または市バス「野跡駅」バス停下車徒 歩15分。駐車場有。

(3) 「干潟を音であそぼ~タイココミュニケーション~」

- 日 時 8月13日(木) 10時~12時
- 対 象 小学生(保護者同伴)
- 切 8月10日 (月)
- 師 本多 "taco-bow" 正典氏

- 内容 干潟の生きもののお話とともに、音楽を生演奏で楽 しもう!
- 会場 稲永ビジターセンター (港区野跡4-11-2)、あおな み線「野跡」駅または市バス「野跡駅」バス停下車 徒歩15分。駐車場有。
- 申込方法 メール、電話、FAXにて各々の申込先へ下記①から④の事項をお伝えください。
- 必要事項 ①催し名(干潟体験の場合、ご希望の日付も記入) ②参加者全員の氏名(小学生の場合、保護者名と学年も記入) ③電話番号 (日中連絡のとれる番号)④住所
- 申込先 (1)(2) 藤前干潟ふれあい事業実行委員会

〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ13階エコパルなごや内

TEL 052-223-1067 FAX 052-223-4199 Eメール a2662@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

(3) 環境省名古屋自然保護官事務所

TEL 052-389-2877 FAX 052-389-2878 Eメール WB-NAGOYA@env.go.jp

エコパルなごやのメールマガジン「エコパル通信」のお知らせ

エコパルなごやのイベントや展示情報、なごや環境大学の講座情報など最新情報をタイムリーにお知らせします。エコパルなごやウェブ サイトのトップページ「エコパル通信」の登録フォームにメールアドレスを入力すると登録できます。 エコパルなごや 登録

名古屋市環境学習センター

エコパルなご

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目23番13号 伏見ライフプラザ13階

地下鉄東山線・鶴舞線の伏見駅 [6番出口] 徒歩7分 ■休館日/毎週月曜日 祝日の場合はその翌平日 年末年始 12日200

申込・問合せ先

TEL: 052-223-1066 FAX: 052-223-4199 http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/ecopal/

E-mail: a2231066@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp



